



## 認知症治療をあきらめない

笠間市立病院長 石塚恒夫

今まで私はアリセプト（※1）の使用に積極的でありませんでした。病状悪化や消化器症状等で中断されることも多く、2004年に発表された英国の臨床試験で良い成績が出なかったためです。英国では使用停止が提案されましたが、個々には効く患者がいると患者団体から反対を受けました。日本でもテレビで早期発見・早期治療でうまくいった患者さんが紹介され、早期にアリセプトを処方されなかったことを悔やむ患者家族の涙が映されます。つまり平均的には効かないのですが、よく効く患者もいるのであきらめられないのです。

それではよく効く患者は増やせるのでしょうか。1750例の処方経験を持つ河野和彦先生によると、通常より少ない投与量なのに63%もの患者が改善しているのです。アリセプトは基本的に興奮系薬剤であり、興奮症状が出現したら過剰蓄積と考え減量するということがポイントです。確かにアリセプトの血中濃度半減期は60～90時間と長く、代謝の落ちた高齢者ではさらに蓄積されやすいのです。実際に私も通常の半量程度で開

始したところ、初期脱落もなく継続できる患者が多くなりました。薬の増減の検討のため家族と話す機会も増えるので、たとえ効果がなかったとしても患者の問題点を良く把握できます。

それでもなお認知症は医療よりも介護が必要な病気です。認知症での医療の役割は、むしろ介護のサポートにあるのかもしれませんが。認知症の幻覚・妄想に統合失調症用の抗精神病薬が使われますが、死亡率が高くなると警告されています。しかし病状を把握しながら必要最低限の量・期間で投与することで、鎮静させ過ぎずに介護の手間を減らすことも可能です。一過性の認知機能悪化を来たす病態や薬に精通することも必要でしょう。身近な医師が認知症治療をあきらめないことで、患者の穏やかな生活を少しでも継続できると今は考えています。

（※1）アルツハイマー型認知症に対する国内唯一の治療薬。脳内神経伝達物質アセチルコリンの分解を抑えることで、低下している作用を補う。脳萎縮自体は抑えられないので、症状の進行を半年遅らす程度の効果とされる。

食生活改善推進員が紹介する

### かさま食彩

春ならではの味覚、「苦み」を感じられる一品です。どうぞお試しください。



栄養素量（1人分）エネルギー…114kcal  
たんぱく質…12.4g 脂質…4.3g 塩分…1.2g

### 菜の花とささみのごま和え

材料（4人分）

菜の花	35g
鳥のささみ	150g
ごま	4g
桜えび	4g
塩	少々
だし汁（鶏肉のゆで汁でよい）	大さじ1
しょうゆ	大さじ1.5

作り方

1. 鶏のささみは筋を取り、塩少々を入れた熱湯でさっとゆでて、手で食べやすい大きさにさく。
2. 菜の花をゆでる。3cm位に切る。
3. 鶏のささみ、菜の花に桜えび、ごま、醤油、だし汁を加えて和える。